

【栃木県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

2024 年度 3 次隊 栃木県各自治体への表敬訪問

国際協力機構（JICA）は、2025 年 4 月より栃木県から 3 名の JICA 海外協力隊員を 2024 年度 3 次隊として派遣いたします。隊員は、任国への出発を前に、下記のとおり栃木県知事及び市長を表敬訪問いたします。併せまして、開発途上国での 2 年間の活動を終えて帰国した JICA 海外協力隊員の帰国時表敬訪問についても同時に実施いたします。栃木県から 2 月 28 日現在、のべ 787 名（うち女性 360 名）が派遣され、20 名（女性 13 名）が派遣中で今回新たに 3 名が派遣されます。つきましては、貴社媒体にて、栃木県から世界へ飛び立つ JICA 海外協力隊を県民の皆様にご紹介いただければ幸いです。

1. 表敬訪問日程

表敬先（敬称略）	日時・場所	表敬者（敬称略）
栃木県 知事 福田 富一	2025 年 4 月 10 日（木） 16:00～16:20	同県から出発する JICA 海外協力隊員 3 名 小澤 紗季、海老澤 毅、郡司 雅由美 帰国隊員 1 名 井上 貴絵
宇都宮市 市長 佐藤 栄一	2025 年 4 月 10 日（木） 11:30～11:45	小澤 紗季（ニカラグア：助産師）
真岡市 市長 石坂 真一	2025 年 3 月 26 日（水） 13:15～13:45	海老澤 毅（キルギス：空手道）
日光市 市長 粉川 昭一	2025 年 3 月 25 日（火） 15:00～15:30	郡司 雅由美（セネガル：幼児教育）

2. 2025 年で 60 周年～JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ 20 歳～69 歳の方が対象となり、派遣期間は原則 2 年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。

1965 年に、ラオス・カンボジア・マレーシア・フィリピン・ケニアの 5 か国への派遣から始まった本事業は、2025 年で 60 周年を迎えます。これまで 57,000 人以上が、農林水産、保健・医療、社会福祉、商業・観光等含む 9 つの分野、190 以上の職種で、隊員の皆様がそれぞれの技術・経験を活かし、開発途上国の人々のために活動してきました。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 栃木デスク 田島（タジマ）

TEL 028-621-0777（栃木県国際交流協会内）

E-mail: jicadpd-desk-tochigiken@jica.go.jp